

新刊紹介

實用主義の哲學

ウイリアム・ジェームズ著
上野隆誠 譯

アメリカに於ける最も有名な哲學者であり、心理學者であるジェームズが彼れの所説たる實用主義の哲學について講演したのが本書である。實用主義はこの書が一九〇七年に出版されるに及び、始めて哲學界に於て注目され、その獨特の位置を占めるやうになつた事は、今更事新しく言ふまでもない。此の意義に於て、この書は永く哲學界に於て讀まれるべき名著である。本譯は哲學名著叢書の一として譯されたものである。譯者は東大宗教學科の出身者で、多年ジェームズ研究に没頭して居られるに聞く。實用主義に關する日本文の文献のあまり多くない今日に於て、良い參考書を學界に提供せられた事を喜ぶものである。

(東京麴町幸ビル、理想社出版部出版圓八拾錢)

宗教哲學の基礎概念 菅 圓吉著

本書の序文によれば、本書は宗教哲學に就いての基本的知識を與へ、宗教の研究を始めようとする人々の手引とする爲に書かれたものである。故に微細な専門にわた

る事柄を避けて、たゞ現代の宗教哲學が如何なる問題を如何に取扱つてゐるかといふ事を簡潔に平易に説明しながら、その説明の間に宗教の本質を分りやすく説明してある。

この學問でもさうであるが、一つの學問の研究せんとする現象(例へば宗教學に於ける宗教現象の如き)を學的に然も平易に、その學に全く豫備知識のない人が讀んで、すぐ分るやうな書籍を、學的價值を失はずに書くことは中々困難である。やゝもすればその學の筋書のやうなものになつてしまふ。それでは、その學を一通り知つてゐる人の備忘録にしか價しない。本書はかゝる缺點を脱却して、平易でありながら、學的價值を多く有し、よく宗教哲學の大綱を要領よく説いてあるから、入門者をしてよく斯學の大意を把握させることが出来ようかと思はれる。

佐藤一齋 言志四錄續抄 龜井一雄 選擇

江戸末期の陽明學の大儒佐藤一齋の名著言志錄は、儒學研究上にも、修養上にも有益な本として今尙廣く愛讀されてゐる本である。本抄はその選擇であつて、先に同じく龜井氏が選擇されたもの、續篇になつてゐる。

(高橋俊乘紹介)